

感染急拡大への対応は

二又・広田診療所も検査と診療

質問 新型コロナウイルスによる感染状況は。

答弁 7月下旬から新規陽性者が急増し、本市では8月21日

現在で38人となった。

質問 大船渡保健所の業務が増えている。市としてPCR検査体制の強化策は。

答弁 これまで、市内の検査医療機関は県立高田病院をはじめ、松原クリニックと鳥羽医院だったが、二又診療所と広田診療所でも実施する。

質問 陽性者や自宅療養者へのサポートはどうか。

答弁 買物支援などを継続し、感染について相談する人の気持ちに寄り添い対応している。遠慮なく相談を。

やさしい公共交通は

質問 ふるさとタクシー助成事業は市内全域に拡大されたが、利用状況はどうか。

答弁 7月末で延べ利用者数は前年同期の2.2倍1597人となり、対象拡大

地域でも利活用が進んでいる。

質問 グリーンスローモビリティも本格運行となっているが、実績と反応はどうか。

答弁 8月のお盆期間中は1日の最大利用者は63人で順調に増加している。約8割が市外・県外からの来訪者で、ドライバーによる震災や復興のガイドも好評だ。

質問 路線バスの生出線の利用状況はどうか。

答弁 7月から運行事業者を(有)奥州交通に変更した。この5カ月間の利用者前年比162人増となっている。

「はまかだ」運動は

質問 震災後始まった「は

質問 市立博物館の開館時期と記念式典の開催は。

答弁 昨年7月に完成後2夏が経過し、空気環境測定が基準値内となったことから、展示資料の搬入と展示作業の期間を見据え、11月5日に開館し、一般公開する。また、開館に先立ち、11月3日には開館記念式典を開催する。



11月5日開館の市立博物館



広田診療所

まっけてけらいいんかだってけらいいん」運動の状況はどうか。
答弁 はまかだスポット数は112カ所ある。高齢者はもとより、子育てや思春期教育、自殺対策などの居場所づくり、孤立防止でも有効だ。市民の間での認知度は70.9%となっている。

次期市長選への思いは

課題多く引き続き市政を

質問 復旧・復興から新たなまちづくりまでの11年半を振り返り、その総括を。

答弁 東日本大震災の発災

からこれまで、国内や世界各国の皆様から多くのご支援や励ましをいただき、復興完遂に向け全身全霊で邁進してき

た。今後も心の復興に意を用いながら復興完遂に向け取り組むとともに、新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら市民の安全、安心の確保と地域経済の活性化を最優先に各種施策を展開していく。

質問 次期市長選挙への思いは。

答弁 さまざまな取り組み



伊藤 明彦
(新 志 会)

が現在進行形で進められており、加えてコロナ禍やロシアのウクライナ侵攻などによる市内経済、市民生活への影響に対する多くの課題解決が急務となっている現状から、引き続き市政を担わせていただきたい。

博物館はいつ開館

質問 被災資料の安定化処理や修復作業の進捗状況と今後の見通しは。

答弁 回収した約46万点のうち、本年度末までに約33万点の処理が完了する。残る約13万点の未処理資料については、国の補助事業を活用し再生事業を継続していく。

質問 公開承認施設として

認定を得るまで長い期間を要する理由は何か。

答弁 一定期間に一定回数的重要文化財の展示実績を積み上げ、取り扱いのノウハウを習得する必要がある。できるだけ早く公開承認施設の認定を取れるよう努めていく。

古川沼の利活用は

エコツーリズムの理念で

質問 市民の憩いの場となっている古川沼の今後の利活用は。

答弁 古川沼周辺の市道は市

民が散策やランニング、ウォーキングなどを安全に楽しめるよう一般車両の通行を規制し、歩行者と自転車のみ通行可能とし



ている。今後も市民の憩いの場として、快適に楽しんでもらえるよう、県や関係団体と連携し、環境整備や各種イベント開催に取り組んでいく。

質問 交流人口拡大に向けた利活用策は。

答弁 地域の自然環境や歴史・文化を体験しながら学ぶとともに、その保全にも一定の役割を果たす「エコツーリズム」が推奨されており、持続可能な観光の在り方の一つとして、国際的にも広がりを



大和田 加代子
(碧 い 風)

見せている。豊かな自然景観や多様な生態系がもたらす生物などのありのままの姿を観察するなど、さまざまな形で楽しんでもらうことが、交流

生理の貧困問題は

質問 経済的な理由などで生理用品を購入できない女性の問題が顕在化している。生理用品配布の考えはないか。

答弁 厚生労働省の調査でも20代以下で約8人に1人が

生理用品の購入や入手に苦勞したとの回答がある。社会福祉協議会を中心に関係機関と意見交換を行っており、市内教育機関をはじめ、市内事業所などにおいて無償で提供できるよう検討を進めている。



水鳥が羽を休める古川沼